

平成28年度 福島県保険者協会医療費調査部会事業報告【概要版】

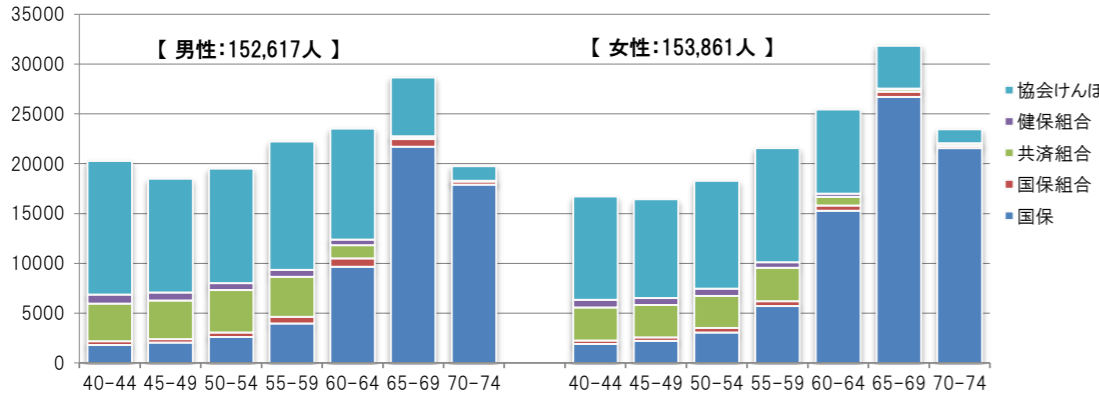
平成26年3月に健保法、国保法に基づく保健事業実施指針が一部改正され、高確法に基づく保健事業実施指針が新たに示されました。それらの指針の全てに、データヘルス計画の策定が記され、国民の健康の保持増進に向けてデータに基づく効率的効果的な保健事業の実施が全ての医療保険者に求められています。特に、我が国では生活習慣病による死亡率が年々増加し生活習慣病予防対策が喫緊の課題となっています。40歳以上の県民が受診する特定健診データおよび75歳以上（65歳～74歳の一定の障害があると認定された者を含む）の県民が受診する後期高齢者健診は、県民の健康づくり、生活習慣病予防対策を行う上で非常に重要なデータです。

今年度、福島県保険者協会では、県内15医療保険者のうち14医療保険者の健診データの集約分析を行い資料化いたしました。本資料を県民の健康施策の基礎資料として広くご利用いただければ幸いです。

I. 特定健診結果の概要

本報告は、平成27年度特定健診データ提供に同意頂いた国保（市町村国保・国保組合）、共済組合、健保組合、協会けんぽのデータを分析しました。提供いただいたデータすべてを分析の対象としました。

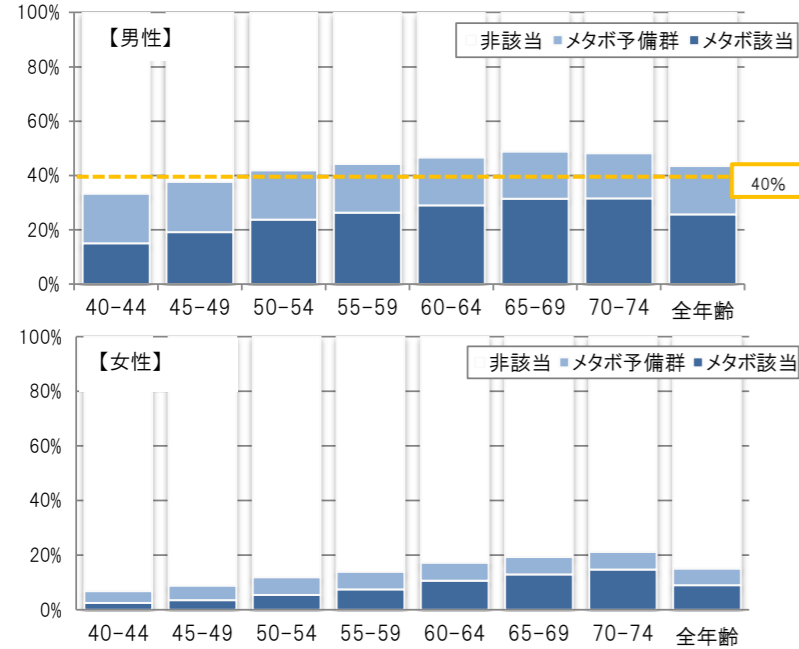
(1) 分析対象の状況



平成27年度は**306,478人**の特定健診データを分析対象としました。

	男性	女性	男女計(%)
40-44歳	20,311	16,747	37,058 12.1%
45-49歳	18,522	16,452	34,974 11.4%
50-54歳	19,534	18,292	37,826 12.3%
55-59歳	22,236	21,585	43,821 14.3%
60-64歳	23,556	25,462	49,018 16%
65-69歳	28,675	31,859	60,534 19.8%
70-74歳	19,783	23,464	43,247 14.1%
合計	152,617	153,861	306,478 100%

(2) メタボリックシンドローム該当者及び予備群の状況



◆二次医療圏で比較すると…(※1)



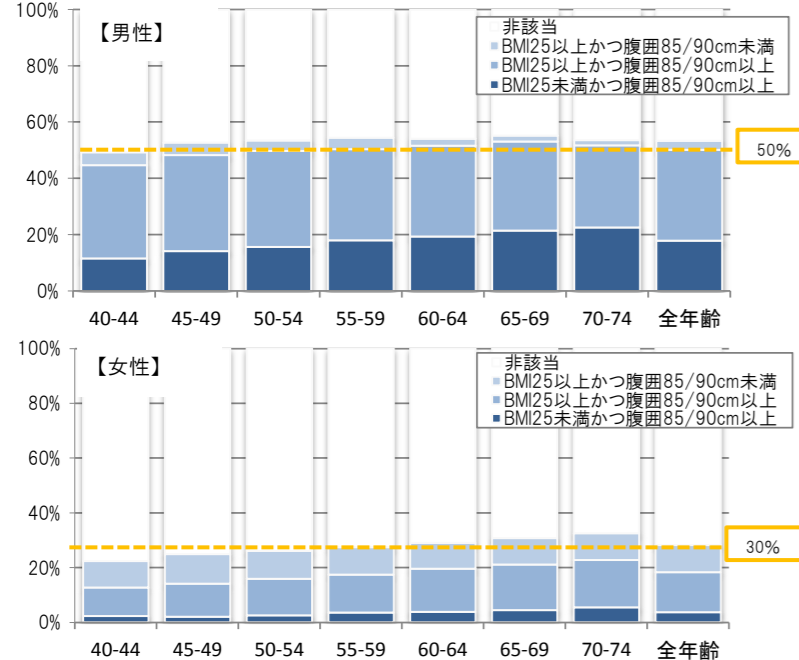
福島県男性の**40%**が「**メタボ・メタボ予備群**」です！

男女ともにメタボ予備群は全年代にほぼ同じ割合で見られますが、メタボ該当者では男性は65-69歳をピークに、女性は加齢とともに増加しています。

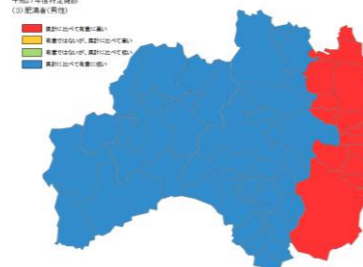
男性・女性ともに相双地区のメタボ該当者割合が高い状況です。

※H27厚労省発表において福島県はメタボ・メタボ予備群該当者率は全国ワースト第2位です。

(3) 肥満者の状況



◆二次医療圏で比較すると…



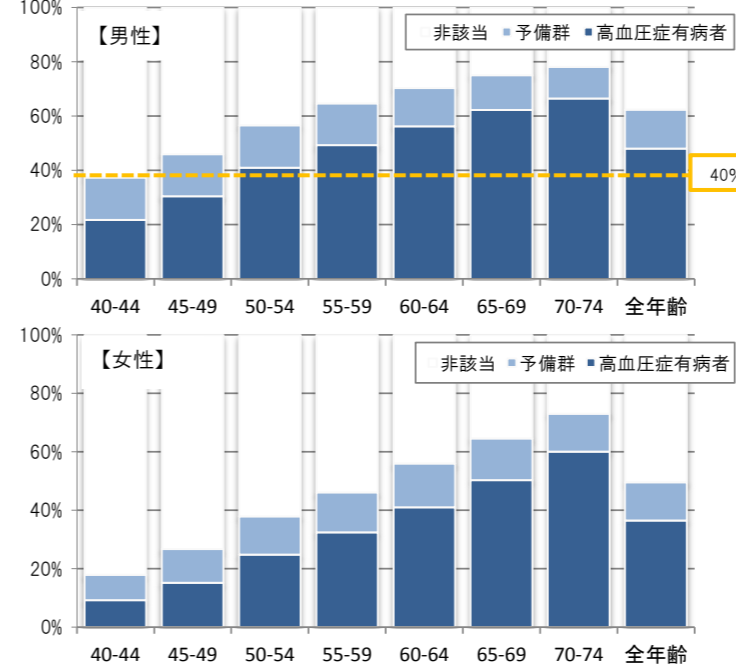
福島県男性の「**肥満**」は深刻です！

男性は、ほぼ全年代で**2人に1人が肥満**の傾向にあります。若い世代ではBMIおよび腹囲の両方で基準値以上の肥満の方が多く傾向があるが、腹囲肥満は加齢により増加しています。

女性は加齢とともに肥満者割合が増加、約**3人に1人**が肥満者の傾向にあり、男性と比較してBMI肥満の割合が高い傾向があります。

相双・いわき地区の男性、相双地区の女性に肥満者割合が高い状況です。

(4) 高血圧症有病者等の状況



◆二次医療圏で比較すると…

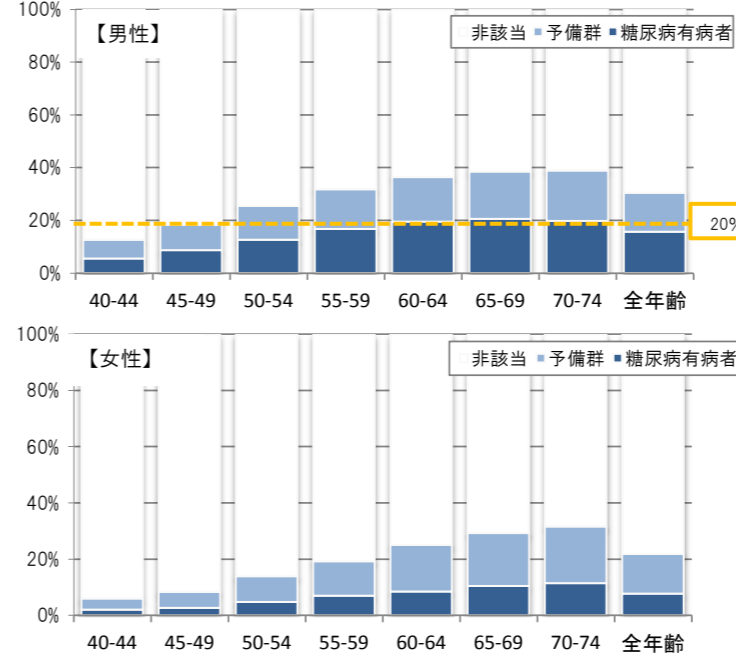


40歳代男性の約**40%**が、すでに「**高血圧症・予備群**」です。

男女共、有病者及び予備群は加齢とともに増加の傾向がみられます。特に男性は40歳代で3人に1人が有病者又は予備群となっています。

相双・南会津地区の男性、相双、いわき地区の女性の高血圧症有病者割合が高い状況です。

(5) 糖尿病有病者等の状況



◆二次医療圏で比較すると…

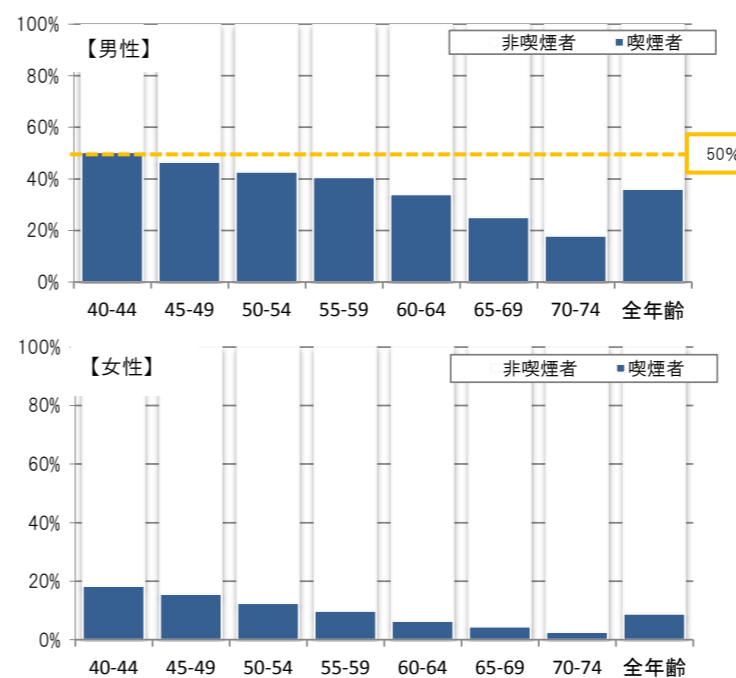


60歳以降の男性の約**5人に1人**に「**糖尿病**」がみられます。

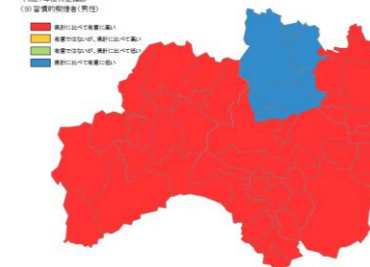
男性は、65-69歳をピークに、女性は加齢とともに割合が増加しています。

相双・県南地区で男女共に糖尿病有病者割合が高い状況です。

(6) 習慣的喫煙者の状況



◆二次医療圏で比較すると…



40歳代男性の約**2人に1人**が「**習慣的喫煙者**」です。

男女共に若年層の割合が高く、加齢とともに減少傾向となっています。

県北地区では男女共に、他地域に比べ、習慣的喫煙者の割合が極めて低い状況にあり、男性の県中地区および女性の県中・相双地域では昨年度に比べ標準化該当比の減少がみられます！

平成24年度国民健康・栄養調査において福島県の習慣的喫煙者の割合は、**全国ワースト第1位**です。

※1 標準化該当比 受診者の性年齢構成が二次医療圏ごとに異なるのを補正する目的で標準化死亡比(SMR)の計算方法に準じて算出した。また、二次医療圏と基準である福島県計との差が偶然であるか否かを示すためにポアソン分布を仮定した検定を行った。

■ 県計に比べ有意に高い ■ 有意ではないが、県計に比べ高い ■ 有意ではないが、県計に比べ低い ■ 県計に比べ有意に低い